

結ぶ絆から、広がるご縁へ

四州教区だより



教務所長就退任

9月1日付人事異動により岡田義宣教務所長が着任し、羽川俊裕前教務所長が退任しました。



この度、9月1日付をもって四州教区教務所長・本願寺塩屋別院輪番・本願寺高知別院輪番を拝命いたし赴任させていただきました。御地にご縁をいただきましたこと、誠に有難く存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

何分にも浅学非才の身ではございますが、教区・別院の護持発展とご法義繁盛、宗門の興隆、そして御同朋の社会をめざす運動の推進にむけて、微力ながら全力を尽くし精進いたす所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻をいただきますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。

本来ならば、拝眉のうえご挨拶申しあげるべきところではございますが、略儀ながら寸楮をもって就任のご挨拶とさせていただきます。

合掌

2023(令和5)年9月1日

浄土真宗本願寺派

四州教区教務所長

本願寺塩屋別院輪番

本願寺高知別院輪番

岡田 義宣



今般、9月1日付をもちまして、岐阜教区教務所長・本願寺岐阜別院輪番兼ねて本願寺笠松別院輪番を拝命いたしました。2021年12月より1年9カ月の短い間ではありましたが、四国での在任中、皆さま方より公私にわたり格別なるご厚情を賜りましたこと心よりお礼申しあげます。

今後は岐阜の地にてご法義繁盛と宗門興隆のため、微力を尽くす所存でございます。

末筆ながら皆様方のご健勝を念じあげますとともに、略儀ながら、寸書をもって退任のご挨拶とさせていただきます。

合掌

2023(令和5)年9月1日

浄土真宗本願寺派

岐阜教区教務所長

本願寺岐阜別院輪番

本願寺笠松別院輪番

羽川 俊裕

各教化団体合同清掃奉仕(別院清掃奉仕)実施について

四州教区・本願寺塩屋別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の機運を高めるため、別院で毎月第1土曜日に実施されている清掃奉仕を各教化団体の皆様にご案内いたします。

- 名称：「わたしの御坊さん」(別院清掃奉仕)
 日時：2023(令和5)年11月4日(土)9:00~13:00
 目的：別院年間行事で一大法要となる報恩講法要に備える。
 来年度の教区・別院慶讃法要の機運を高める。
 日程：9:00 別院本堂、境内清掃
 11:00 清掃終了
 引き続き会館で昼食、別院の沿革説明
 13:00 解散
 対象：各教化団体単位会、関係者



INTERVIEW SESSION

よしゅうがくそ

豫洲楽所



松本 信見
 (Matsumoto Shinken)
 豫洲楽所楽頭
 担当楽器・鞆鼓

Message

雅楽は、法要時に奏でる華やかな音楽が有名ですが葬儀の際に演奏する曲目もあります。本来、葬儀は哀しみだけの儀式ではないと思うことです。

そして、雅楽に携わる者として演奏する機会が増えて欲しいと切に願います。

Contact

お問い合わせ先
 代表・西法寺まで
 089-931-5773

松本さんが思う雅楽の魅力とは？
 「そうですね：私が思う雅楽の魅力は、1500年前と今変わらない音に出あえることだと思います。いうなれば悠久の時を超えて：今ここにいる私も、同じ譜面と楽器で演奏できることは大きな魅力だと思えます。」

入会の条件はありますか？
 「どなたさまでも！ご門徒さんや大谷派の方も参加されております。ご興味のある方はぜひご連絡ください。」

活動内容について教えてください。
 「結成は、昭和60年、有志5名で立ち上げました。現在の会員は10名程です。毎週木曜日「十八(じっぱちまき)木」と名づけ練習と会員の親睦の場を設けています。主な活動は、法要や会員の報恩講で演奏しています。またコロナ禍以前は地域の小中学校や老人ホームなど出張演奏の機会もありました。」

活動の中で特に印象に残ったエピソードを教えてください。
 「以前、松山市仏教会が開催した講演会の法要時に、豫洲楽所で演奏したことがあるのですが、そのご講師が大変有名な雅楽奏者の方で：今思えば「よくぞ、演奏した！」というところでした。もちろん当時の会員は猛練習を重ねました。そして当日は、プレッシャーも良い方向に働き素晴らしい演奏ができたことと思います。講師の先生からもお褒めの言葉をいただき、会員一同、大変嬉しく励みになりました。」



記念連載企画

夏休みの思い出 夏休みキッズサンガ・子ども会特集

夏休み宿題サポート IN 妙延寺

— 8月6日(日)香川南組妙延寺にて —

わたしは、せっけん作りをしました。紙コップにせっけんのもとを入れて、おゆが入っているフライパンにつけてとかす時間はとても長く感じました。できあがったせっけんは、良いにおいがしてやわらかかったです。

作ったせっけんでしたっけり手であらったら、どれも良いにおいがして気持ち良かったです。

参加いただいた小学3年生

お寺は従来、地域のコミュニティの中心として開かれた場所であったが、今、お寺は社会の変化に取り残され、伝統という言葉に縛られ、地域社会の中で閉ざされた空間に陥りつつある。また、核家族化で代々受け継がれていた



「家」の宗教意識が薄れ、若い世代が手を合わすご縁が少なくなっている。

その中で、お寺を身近に感じ、手を合わすご縁を繋いでいきたい想いから「キッズサンガ夏休み宿題サポート」を開催している。みんなが食前・食後の言葉を述べ、こども法話の終わりに「ナンマンダブ、ナンマンダブ」と手を合わす子ども達がいる。若い世代の親子が1日をお寺で過ごす光景は、お寺にも力をもたらえる。

今回の行事の企画運営は、お寺の応援団的組織「妙延寺サポータークラブ」がおこなっている。月に1回、サポーターメンバー(会員25名)がお寺に集まり、打ち合わせを行う。打ち合わせの始めと終わりには、「ナンマンダブ、ナンマンダブ」と手を合わす。行事を一番楽しんでるのは、サポーターメンバーと住職である。

香川南組妙延寺住職

筑後真

安楽寺夏のキッズサンガ — 8月19日(土)徳島西組安楽寺にて —

8月19日(土)に、安楽寺夏のキッズサンガが開催されました。コロナウィルスの影響で4年ぶりの集まりとなりましたが、5人の子供達が参加してくれました。

龍谷大学伝道部も夏期巡回を再開してくださり、午前10時から開会式、皆で「らいはいのうた」をお勤めして、阿弥陀様のお話しを聞きました。楽しいゲームと人形劇で、新しい仲間との思い出を作りました。

閉会式では、送り出してくれた家族と、準備してくれたスタッフ、集まっておくれとよんでくれた阿弥陀様に、お礼の気持ちを忘れないようにとのお話をし、また来年も集まろうねとお約束、午後3時の閉会式を迎えました。

安楽寺少年会・少年連盟委員

千葉恒乗



清立寺サマースクール — 8月20日(日)飯山北組清立寺にて —

4年ぶりにサマースクールを開催し、27名の子供も達に参加してくれました。龍谷大学伝道部の学生さんによるゲームなどの若さ溢れる指導に、子ども達も大いに盛り上がり上がっていました。また夕食の準備などをしてくださった保護者の方々も久しぶりの開催に力が入っているようでした。

参加児童の中にはその後、普段開催している土曜学校にも参加してくれるようになります。お寺の活動を知ってもらえるいい機会になりました。

清立寺子ども会・少年連盟委員長

香川公潤



第23回塩屋別院寺子屋

— 8月21日(月)本願寺塩屋別院にて —

いつもなら、おじいちゃんのお墓参りに行くだけですが、初めて本堂に入ってもと違う空気を味わえました。京都から来てくれたお姉さんたちが一緒に色々な遊びを考えてくれました。風船、新聞を使った遊びをしたり、カレーを食べたり、ふだんのお寺では出来ない事ができて楽しかったです。

参加いただいた小学4年生

当日は、開会式で「らいはいのうた」をお勤めした後、龍谷大学伝道部の学生さんに仏さまのみ教えをわかりやすくお話いただきました。



その後、会場を研修室に移し、学生さんが室内オリンピックピックや鬼ピックや鬼のゲームを行い、最後にカレーライスをみんなで食べて終了しました。

コロナの関係で4年ぶりの開催となりましたが、皆さん楽しんでいただけようでした。

本願寺塩屋別院

福成寺夏休み仏教子供会

— 8月25日(金)香川南組福成寺にて —

この度、龍谷大学伝道部の学生さん2名をお招きし、「福成寺夏休み仏教子供会」を開催しました。4年ぶりの開催でしたが43名の小学生が参加してくれました。

開会式で、お正信偈を一緒にお勤めした後、室内オリンピック、人形劇、宝探しなどを楽しみました。室内オリンピックでは、競技が終わった

た班の子ども達が、まだ競技が終わっていない子ども達に向けて、「頑張れ、頑張れ」と一つになって、大声で声援を送っていました。その子ども達の姿に、心が温かくなりました。夕方には、御門徒さんが作ってくれたお弁当を、みんなまで美味しく頂きました。

この仏教子供会で、夏休みの楽し

ほとけの子どもの集い

— 8月23日(水)香川南組善福寺にて —

善福寺では、この度、龍谷大学伝道部の学生さん2名を招いて「ほとけの子どもの集い」を開きました。

20名が参加したこの集いでは、学生さんがお念珠やお経本を大切に扱うことや、金子みすゞさんの詩を用いた法話を行った後、室内オリンピックという様々なミニゲームが含まれている遊びで盛り上がり、最後に皆で夕食のカレーを食べました。子ども達の「楽しかった。来年もまた来たい」といった声を聞くことができ、お寺での楽しい時間を



楠 智成

いい思い出をたくさん作ってくれたことと思います。また9月から始まる学校生活も、元気に明るく楽しんで欲しいと思います。

むつみ子供会・少年連盟委員

幡多 恭子



ジェンダーについて「性と生を考える」

― 教区仏教婦人会連盟総会・実践運動研修会 ―

7月17日、教区仏教婦人会連盟の総会並びに実践運動研修会が本願寺塩屋別院で、オンラインを併用し開催されました。総会では昨年度の活動、決算報告や今年度の活動、予算案が協議されました。その後の研修会では、講師の岩本智依師（奈良教区奈良組常蓮寺・同和教育振興会研究員）から講義をいただきました。

「そもそもジェンダーとは、男らしさや女らしさといった社会的に作られた性別であり、偏見も含んでおります。現在となってはジェンダー問題は社会的課題の1つとして取り上げられておりますが、親鸞聖人が過ごされた鎌倉時代は、女性には常に強く抑圧される社会でありました。」



しかし、当時の文献を読み解くと、親鸞聖人と妻の恵信尼さまは、現代の夫婦に近い、当時としては常識外の関係性であったそうです。親鸞聖人と恵信尼さまはその生き方を通して古いジェンダー観を否定していかれました。現代の我々にとっても、2人の関係性や浄土真宗のみ教えを聞かせていただく事は、ジェンダー問題を読み解いていくよい指針であります。皆平等という仏教の教えを通して、男らしさや女らしさといった概念を超えて、自分らしく過ごしていく道を歩んでいきましょう。」とジェンダーと浄土真宗のみ教えについて詳しく講演いただきました。

8月30日、ビハラー四国・実践運動人権合同研修会が公開講座として、あわぎんホール徳島県郷土文化会館を会場に開催されました。始めにビハラー四国総会が開催され、その後、「ビハラー活動の事例報告」と題し、講師の坂上良師（ビハラー四国副会長・高知組受法寺）から講義をいただきました。講師は自身の母を介護し、看取った経験を通して、どのような介護を行ったか、介護の段階にともなう思いの変化や苦勞も踏まえて話されました。最後にビハラー活動とは、看取られてゆく人が安心して過ごせる空間をつくることであると締めくくられました。

続いての実践運動人権研修会



「ビハラー活動の事例報告」、 「仏教と人権」

― ビハラー四国研修会実践運動人権合同研修会 ―

8月30日、ビハラー四国・実践運動人権合同研修会が公開講座として、あわぎんホール徳島県郷土文化会館を会場に開催されました。始めにビハラー四国総会が開催され、その後、「ビハラー活動の事例報告」と題し、講師の坂上良師（ビハラー四国副会長・高知組受法寺）から講義をいただきました。講師は自身の母を介護し、看取った経験を通して、どのような介護を行ったか、介護の段階にともなう思いの変化や苦勞も踏まえて話されました。最後にビハラー活動とは、看取られてゆく人が安心して過ごせる空間をつくることであると締めくくられました。

田村正教師（実践運動四州教区委員会副委員長・高松組教円寺）が「仏教と人権」と題して講義されました。講師は、本的人権と仏教の関わりについて、同一ではないが、関係性は認められると述べたうえで、それぞれの立場で問い続ける必要があると話されました。

その後、高松刑務所で教誨師として活動している経験を踏まえ、宗教者として人権活動に向き合っていく実践の一例を紹介いただきました。

今年度教区得度講習会、得度考査が開催

— 2023(令和5)年度四州教区得度講習会・考査 —

今年度、四州教区の得度講習会並びに得度考査が、本願寺塩屋別院を会場に、8月26日から28日にかけて開催し、4名が受講されました。

26日から27日にかけて行われた講習会では、「宗制の大意」(羽川俊裕前教務所長)、「仏教の基礎知識」(赤松信映師本願寺派輔教)、「法式規範」(寺本聖史師 名誉知堂)、「勤式作法」(更科親央師 勤式指導員)の講義。27日朝には塩屋別院の晨朝に実習を兼ねて出勤しました。

最終日の28日に、考査が行われました。



公聴会、活発な意見が飛び交う

— 2023(令和5)年度第2回組長会・公聴会 —

7月26日、本願寺塩屋別院にて、第2回組長会並びに公聴会が開催されました。

14時から開催の組長会では、教区内から20名(オンライン・代理含む)の組長に出席いただき、宗派・教区の賦課金収納現況や、臨時教区会や塩屋別院責任役員総代会の報告が行われました。また、来年度開催の「四州教区・本願寺塩屋別院慶讃法要」の出勤依頼、11月に勤修する塩屋別院並びに高知別院の報恩講法要の出勤などについて、依頼を行いました。

組長会終了後、16時から行われた公聴会では、四州教区、熊本教区、沖縄県宗務特別区の合同開催となり、宗派より「新たな意見が飛び交う」

「新たにめざす持続可能な宗務組織を構築するための具

体策」、「御同朋の社会をめざす運動」総合基本計画・重点プロジェクトの策定、「賦課基準の見直しについて(第3次答申)」の動画による説明が行われました。意見聴取の時間では各教区からそれぞれ意見や提言が出され、特に四州教区からは活発な発言があげられました。公聴会で聴取した意見等は、取りまとめの後に、宗報で報告される予定です。



8月15日、9月18日、非戦平和を願い「平和の鐘」

四州教区では、教区独自の取り組みとして、非戦平和の願いを込め、毎年8月15日の終戦記念日に「平和の鐘」を実施しております。

また、宗門全体の取り組みとして、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が行われる毎年9月18日にも「平和の鐘」を実施しております。

この追悼法要は、「戦争によって尊いのちを失われたすべての方がたを追悼し、悲

惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため」に満州事変の発端となる柳条湖事件が起こった9月18日に合わせ、1981年から毎年、東京の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で勤修しております。

「平和の鐘」を実施いただいた教区内各寺院の皆様、ご協力ありがとうございました。また、来年度はより多くの寺院が取り組まれる事を願っております。

18日に合わせ、1981年から毎年、東京の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で勤修しております

「女性の出家 ―比丘尼僧団の誕生―」

本願寺派司教

能仁 正顕

(龍谷大学文学部教授
徳島南組道浄寺住職)



しみ、夫を亡くして生活の道に迷い、偏見の中で苦悩する女性の姿を垣間見ます。仏陀が語った「女性の身であることは苦である」という言葉がその理由を言い尽くしているでしょう。

成道後、およそ13年を経て、お釈迦様はカピラ城に帰郷します。熱烈な歓迎をうけ、寺院が建立され、何度も説法が行われます。多くの釈迦族の男性が出家し、また実母



【ゴータミーによる出家の懇願】
釈尊絵伝（花巻市博物館）より



【阿難による出家の取りなし】
釈尊絵伝（花巻市博物館）より

の意は、出家というよき行為であつても重大な過失を引き起こすことが予見される場合、2度までは拒否し、3度目に解決策を見出して対応することになります。

2度目、自ら剃髪までして仏陀の後を追うゴータミーは、阿難にお願いし取りなしてもらいますが、それも拒否されま

マールヤー亡き後、養母としてお釈迦様を大切に養育したマハーパジャーパーティー・ゴータミーも熱心な在家信者となります。

陀が再びカピラ城を訪れたとき、ゴータミーは、釈迦族の女性500人と共に、仏陀に出家を願います。尼僧の語録（長老尼偈経）には、時に

3度目、阿難は、女性が煩惱を断ち人から尊敬され供養を受けるに



【仏陀による比丘尼僧団の認可】
釈尊絵伝（花巻市博物館）より

飯王も亡くなります。仏

生々しい出家の動機も記され、子を亡くして悲

「仏の顔も三度」という

が煩惱を断ち人から尊敬され供養を受けるに

ふさわしい聖者、すなわち「阿羅漢」になることができるかを問ひ、ゴータミーが慈愛をもって養育してくれた恩人であることを訴えます。仏陀は、男女に能力差は無いことを答え、教法の道理と仏陀の慈悲のもと、女性の出家を認めます。ただし教団護持の観点から、比丘尼は常に比丘を敬い比丘に従うべし、との条件が付けられました。

比丘尼僧団が誕生したことは画期的な出来事でした。条件が付いたことで後の展開に影を落としますが、女性は出家しその身のままで覚めることができました。



布教団による リレー法話

第9回

「無分別」 むふんべつ

本願寺派布教使

依光 俊照

(四州教区布教団役員
高知北組法照寺住職)



はないでしょうか。

人にはそれぞれの価値観があります。なのに私たちはそれぞれを認めて行くのでは無く、自身の正しさを相手に押し付けてそこに優劣を付け、比べてしまっているのではないのでしょうか。

差別区別すること無く、どの命も皆違う命だと分かったうえで、たった一つの救うべき命であるのご覧になってください「南無阿弥陀佛」とこの私に至り届いてくださって居られます。

阿弥陀様のお救いは、あらゆる命を救いたいとの願いからです。

私たちも自分の価値観を押し付け合い比べ合って行くのではなく、それぞれの価値観を認め合い受け入れて行くことで、より良い命の日々を送らせて頂くことが出来るのではないのでしょうか。

合掌

タレントの高田純次さんは、年をとってからやっではいけないことは、昔話、自慢話、説教の3つで、若い人たちにそれらをするのは必要以上に自分を大きく見せようとする行為であり、むしろ相手から小さく見られてしまう行いだと仰られています。

自身の昔話(苦労話)等を自慢話のように語っていたことが思い起こされました。

これは、自分の価値観が他者より正しいものだと見せたい、思われたいからの行いで

そんな言葉を聞いて私自身

この命を比較すること無く

各県「連研開催に向けた研修会」(いまさらきけない仏教講座)のご案内

今般、四州教区実践運動委員会伝道研修部主催で、教区内における連研開催に向けた取り組みの一環として、標記研修会を四国4県で開催いたします。ぜひ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

【愛媛県】	10月20日(金)13:00~15:30 愛媛県県民文化会館(別館) 第15会議室(松山市道後町2-5-1)
【徳島県】	10月26日(木)13:00~15:30 あわぎんホール 会議室5(徳島市藍場町2-14)
研修内容	(1)お釈迦さまの生涯について (2)合掌礼拝・焼香作法、仏壇の荘厳等について
持ち物	念珠、筆記用具
参加費	無料

※香川県、高知県「連研開催に向けた研修会」につきましては終了しております。

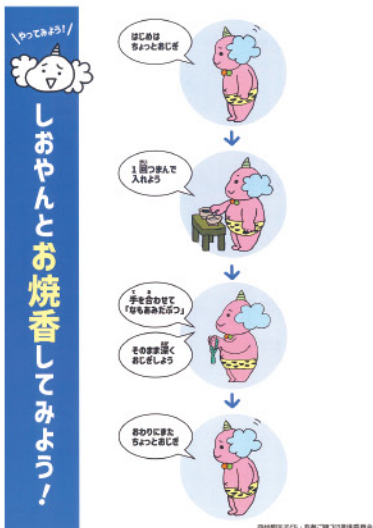
参加希望の方は、各県開催日の1週間前までにFAXやメールにてご連絡ください。

FAX : 0877-23-8197 mail : shioya@juno.ocn.ne.jp

「しおやん」とお焼香してみよう!

この度、四州教区子ども・若者ご縁づくりの事業として、教区オリジナルキャラクター「しおやん」とお焼香の作法を学べる掲示物を作成いたしました。

各寺院にお送りさせていただきますので、スタンドや掲示板等に掲示いただき、お焼香の説明として是非ご利用ください。



本願寺塩屋別院・四州教区教務所の山門表札が新しくなりました

本願寺塩屋別院の山門の柱に掲げてあった表札の文字が読みにくくなりましたので、中山桜陽さんに揮毫いただきました。

中山さんは別院本堂の表札も揮毫いただいております。(四州教区だより第67号表紙参照)

別院にお越しの際は、新しくなった表札をぜひご覧ください。



報恩講法要についてのご案内



2022(令和4)年度本願寺塩屋別院報恩講法要



お勤めの最中



うどんの接待中

□本願寺塩屋別院

期 日：2023(令和5)年11月14日(火)～16日(木)
 会 所：本願寺塩屋別院(香川県丸亀市塩屋町4-6-1)
 時 間：14日 午後1時半～4時
 15日 午前10時半～正午、午後1時半～4時
 16日 午前10時半～正午
 講 師：本願寺派布教使 山宮真船 師
 (東海教区額田組伝道寺)

□本願寺高知別院

期 日：2023(令和5)年11月7日(火)～8日(水)
 会 所：本願寺高知別院(高知県高知市追手筋1-7-4)
 時 間：両日ともに午前10時～正午、午後1時～3時
 講 師：本願寺派布教使 栗原一乗 師
 (備後教区世羅組浄楽寺)

□本願寺塩屋別院高松会館

期 日：2023(令和5)年11月10日(金)
 会 所：本願寺塩屋別院高松会館
 (香川県高松市東田町6-1)
 時 間：午前10時～正午、午後1時～3時
 講 師：本願寺派布教使 高橋隆宣 師
 (山陰教区三隅組専称寺)

□本願寺塩屋別院道後会館

期 日：2024(令和6)年1月9日(火)
 会 所：本願寺塩屋別院道後会館
 (愛媛県松山市道後緑台9-43)
 時 間：午後1時～3時
 講 師：本願寺派布教使 高尾隆徳 師
 (四州教区香川南組妙覺寺)

皆さまお誘いあわせのうえ、お参りくださいますようご案内いたします。
 また、ご住職様をはじめ僧侶の方はぜひ法要にご出勤いただきますよう併せてお願い申し上げます。

四州再発見 ⑥四国のオススメの場所やお店を紹介いたします。 〈～高知県立牧野植物園～〉

毎日の楽しみとなつていたNHKのドラマ「らんまん」(9月29日終了)が放映されていきました。このドラマは、牧野富太郎博士の人生を基にしたもので、神木隆之介さんが演じる牧野万太郎が、植物学への情熱を追求し「日本の植物学の父」と呼ばれるまでの物語です。そこで注



牧野植物園の蓮

目を集めていたNHKのドラマ「らんまん」(9月29日終了)が放映されていきました。このドラマは、牧野富太郎博士の人生を基にしたもので、神木隆之介さんが演じる牧野万太郎が、植物学への情熱を追求し「日本の植物学の父」と呼ばれるまでの物語です。そこで注

目を集めていたNHKのドラマ「らんまん」(9月29日終了)が放映されていきました。このドラマは、牧野富太郎博士の人生を基にしたもので、神木隆之介さんが演じる牧野万太郎が、植物学への情熱を追求し「日本の植物学の父」と呼ばれるまでの物語です。そこで注

〒781-1812
 高知県高知市五台山4-200-6
 TEL(088)882-2601
 FAX(088)882-8635